

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



保育園の職員配置の充実を

コロナ禍が深刻化する中、保育園は「保護者が働いている子どもが利用している」ことから、いつ誰がコロナに感染するかわからない状況の中でも、子どもたちの生活の場として子どもを預かり続けています。保育園を利用する保護者のひとりとして、保育園関係者の皆さんに心から敬意と感謝を申し上げます。

今、政治に求められているのは「頑張っている保育園関係者にどのように報いるか」だと思います。

保育園は、コロナ感染が起こる前から人員や資金が不足し、運営が非常に厳しい状態におかれています。原因の大本にあるのが、配置基準があまりにも少ないということです(右表参照)。

現場の保育園では、この配置基準では子どもの成長を保障し安全な保育を実施することはできないことから、基準より多い保育士を配置しています。

国の運営費補助は、配置基準に基づいて支給され

るので、必然的に一人ひとりの給与が少なくなります。保育という専門的な仕事にもかかわらず、給与がほかの産業と比べて約10万円も少ないことから、なり手不足になる——この悪循環が構造的な課題として指摘され続けていて、そこにコロナ禍が降りかかってきたのです。

保育士の専門性を評価し、安定した運営と子どもたちの安心・安全な成長のためにも、コロナ禍の中でも必死に保育を継続している保育関係者に報いるためにも、配置基準の引き上げが必要です。

国の保育士配置基準	子どもの人数	保育士の人数
0歳時	3人	1人
1・2歳児	6人	1人
3歳児	20人	1人
4・5歳児	30人	1人

市民と職員の交流の場 市役所窓口は市職員で

東村山市では、市役所の複数の窓口業務を民間企業に委託しています。委託しているのは、市民課の住民票などの証明書発行業務窓口、国民健康保険・国民年金の手続窓口、ほっとシティ(生活困窮者自立相談窓口)などです。

日本共産党市議団は「市役所の窓口業務は、市民の困りごとや要望、意見などを直接聞ける大切な業務であり、民間企業への委託はやめるべき」と提案し続けてきました。市も「窓口業務は市民の声を直接聞くことのできる重要な業務」と認識しています。そうであるならば、民間委託をやめ、市職員が直接業務を行うべきです。

市職員が、市民の要望や意見を直接聞き、市民から叱咤激励されながら対応する中で、市職員のスキルや専門性が向上していくと思います。それこそが、市民に身近な市役所職員の本来の仕事ではないでしょうか。

業務効率化やコスト削減ばかりを追求し、市民と直接接する機会を減らしていけば、市の政策が市民不在になる危険性もあります。

市民に寄り添い、市民のいのちと暮らしを守る市政に切り替えていくためにも、市役所窓口業務は民間ではなく市職員が直接担当するように求めていきます。

**YouTube
やっています!**

チャンネル登録もお願いします!



SDGsって何？⑩

包括的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに雇用などの大幅増を目指すことや、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じて持続可能性を向上させることなどを目指しています。

また、途上国でのインフラ整備に対して、先進国が技術的享禄をすることを求めています。安全な水やクリーンなエネルギー、安価で安定したインターネットなど、日本でも必要な技術革新もあります。

「持続可能」とは、コスト削減ありきではなく、環境や人道的観点に配慮することを指しています。

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標の8つ目は、
強靱なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進とイノベーション推進です。



お困りのことなど、お気軽にご相談ください。

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

渡辺携帯：070-2177-7629

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

渡辺みのるにご連絡ください。



渡辺みのる子育て日誌②

近ごろ、次女はダンスにはまっている。

YouTubeでダンス動画を見ながら一生懸命練習している。体を動かすことが大好きで、走ったり飛んだり回ったり。体つきはさながらアスリートのようになっている。

夢中になって取り組む姿に、私も思わず笑顔になる。

一方の長女は読書っ子。学校では図書委員会に入り、休み時間には図書室で読書にふけているようだ。

休みに大きな本屋に連れて行く約束をした。気に入った本に出会えるかな？

三女はまだまだ甘えん坊。でも、お姉ちゃんに負けまいと対抗心に燃えている。まだまだかなわずに泣いてしまう。負けるな。

進級の春。どんな1年になるのやら。

Twitter



Facebook

